

砂そろばん

紀元前2000～3000年前頃、メソポタミア地方で砂をまいた板上の表面に線を引き、小石を置いて計算する方法が生まれました。

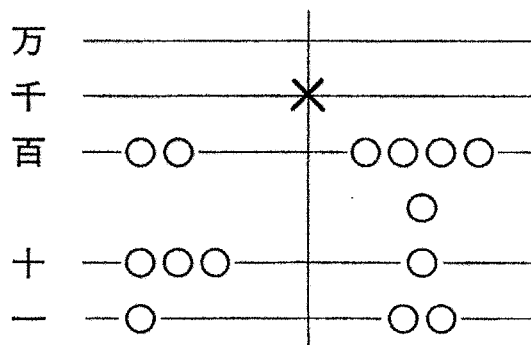


線そろばん

紀元前2500年位前、盤の上に線を引きその上に珠を置いて計算するそろばんが、ギリシヤ、ローマなどで使われるようになりました。

〔線そろばんの計算〕

$$231 + 462$$



231と462を盤上に置いて、これを合わせて693とします。

5は線と線の間置きます。

×印は千の位です。